

# 1 上下水道局令和5年度の予算編成について

## (1) 基本的な考え方

料金収入は、水道料金、下水道使用料とも、新型コロナウイルス感染症の影響などにより厳しい状況が続いており、感染拡大の防止と社会経済活動の両立が図られる中でも、コロナ禍における影響は、いまだ引き続くものと見込んでおります。加えて、世界情勢の影響によるエネルギー価格の高騰等に伴う電力費や資材価格などの高騰は、安定的な事業運営に非常に強い影響を及ぼしており、水道事業会計では平成7年度以来28年ぶりに、下水道事業会計では平成11年度以来24年ぶりに純損失を計上しています。

そうした状況においても、市民生活や社会活動を根底から支える重要なライフライン事業の使命を将来にわたって果たすため、施設の老朽化対策や南海トラフ巨大地震を見据えた地震対策、大雨に対する備えとしての浸水対策などに取り組んでいく必要があります。

このように、上下水道事業を取り巻く経営環境は極めて厳しい状況にありますが、持続可能で強靱な上下水道システムの構築に向け、これまで以上に、効率的かつ効果的な事業執行に努めるとともに、将来を見据えた投資を積極的・計画的に行うことにより、お客さまに信頼される名古屋の上下水道事業を維持していきます。

## (2) 主要事業

### ①水道基幹施設の整備

浄水場や配水場などの水道基幹施設について、老朽化した施設の更新及び耐震化を計画的に進め、災害に対する安全性の向上を図ります。また、水源水質の急変など水源をめぐるリスクにも対応できるよう施設整備を行い、給水の安定性の確保を図ります。

### ②配水管の更新及び耐震化

老朽化した配水管について、計画的に更新及び耐震化を進めます。特にルートの耐震化として、名古屋市地域防災計画に定められた防災拠点である指定避難所や地域防災活動拠点等へ至る配水管について、優先的に耐震化を進めます。

### ③下水道基幹施設の整備

水処理センター、ポンプ所及び汚泥処理場などの下水道基幹施設について、老朽化した施設の改築及び耐震化を計画的に進めます。また、大規模地震発生等に伴う長時間停電に対応できるよう水処理センターの非常用発電設備の増強を進めるとともに、洪水等の災害に対する安全性の向上を図ります。また、水処理センターを再構築するための取り組みを進めます。

#### ④ 下水管の改築及び耐震化

老朽化した下水管の調査と改築を計画的に行います。特に指定避難所等と水処理センターを結ぶ下水管などの重要な下水管については、優先的に耐震化を進めます。

#### ⑤ 浸水対策

名古屋市総合排水計画に基づき、名古屋駅周辺を含む中川運河上流地域において、引き続き雨水調整池等の整備を推進します。また、その他の地域においても改築・更新にあわせた雨水排水ポンプの能力増強等を進めます。

#### ⑥ 水環境の向上

伊勢湾や市内河川の水質を改善するなど水環境の向上のため、下水道未整備地域の解消や合流式下水道の改善などの取り組みを進めます。また、都心部のまちづくりに貢献するため、堀川上中流部及び新堀川上流部におけるさらなる水質浄化策として、将来的な分流化を目指す中で、雨水幹線の整備などとともに、地域を限定した分流化の実施に向けて、取り組みを進めます。

## (3) 新規・拡充事項

## (水道事業)

(単位：百万円)

番号	事項名	概要	令和4年度 予定額	令和5年度 予定額
1	春日井浄水場凝集沈澱池の更新	原水水質の変化にも柔軟に対応できる横流式沈澱池に更新	140	1,039
2	春日井浄水場活性炭注入設備の更新	原水への異臭味原因物質の流入に対し、迅速かつ適切に対応できる活性炭注入設備に更新	627	530
3	防災拠点へ至る配水管の耐震化（ルート の耐震化）	名古屋市地域防災計画に定められた防災拠点である指定避難所や地域防災活動拠点等へ至る配水管を優先的に耐震化	715	495

## (下水道事業)

(単位：百万円)

番号	事項名	概要	令和4年度 予定額	令和5年度 予定額
4	空見スラッジリサイクルセンター第2期焼却施設の整備	老朽化の進んでいる山崎汚泥処理場の代替施設として、空見スラッジリサイクルセンターの第2期焼却施設を整備	20	116
5	下水道基幹施設の非常用発電設備の増強	災害等による長時間停電時においても汚水処理機能を確保するため打出水処理センターなどの非常用発電設備を増強	323	803
6	水処理センターにおける超微細気泡散気装置の導入	老朽化した施設の改築にあわせた打出水処理センターへの超微細気泡散気装置の導入	41	298
7	水処理センターの再構築（中南部グループ）	堀留水処理センター及び熱田水処理センターの廃止に向けた山崎水処理センター改築の設計及び汚水送水管整備の設計	35	193
8	名古屋駅周辺を含む中川運河上流地域の浸水対策	名古屋中央雨水調整池、新道第2雨水調整池及び広川ポンプ所の整備	3,668	3,550
9	簡易処理高度化施設の整備	雨天時の簡易処理水質を向上させるため、千年水処理センター及び熱田水処理センターに簡易処理高度化施設を整備	311	486

(単位：百万円)

番号	事 項 名	概 要	令和 4年度 予定額	令和 5年度 予定額
10	堀川上中流部及び新堀川上流部におけるさらなる水質浄化	堀川上中流部及び新堀川上流部におけるさらなる水質浄化のため、雨水幹線の整備・基本調査、地域を限定した分流化の設計及び拡充した水質調査の継続	20	56

(4) 令和5年度水道事業会計予算

①収益的収支

(単位：百万円)

区 分		令和5年度 予 定 額	令和4年度 予 定 額	差 引 増 △ 減
収 入	給 水 収 益	45,071	45,269	△ 198
	工 事 収 益 等	9,133	7,389	1,744
	計 (A)	54,204	52,658	1,546
支 出	維 持 管 理 費 (うち人件費)	33,649 ( 9,073)	30,900 ( 8,990)	2,749 ( 83)
	資 本 費	19,387	19,263	124
	消 費 税 等	2,616	2,475	141
	計 (B)	55,652	52,638	3,014
A - B		△ 1,448	20	△ 1,468

(注) 資本費とは、減価償却費、企業債の支払利息等です。

②資本的収支

(単位：百万円)

区 分		令和5年度 予 定 額	令和4年度 予 定 額	差 引 増 △ 減
収 入	企 業 債	9,500	3,500	6,000
	出 資 金	452	86	366
	その他資本収入等	1,954	2,314	△ 360
	計 (A)	11,906	5,900	6,006
支 出	建 設 改 良 費	27,895	24,524	3,371
	償 還 金 等	6,467	7,538	△ 1,071
	計 (B)	34,362	32,062	2,300
A - B		△ 22,456	△ 26,162	3,706

(注) 資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額は、減価償却費等の現金支出を伴わない費用から生じる留保資金等で補てんします。

(5) 令和5年度工業用水道事業会計予算

①収益的収支

(単位：百万円)

区 分		令和5年度 予 定 額	令和4年度 予 定 額	差 増 △	引 減
収 入	給 水 収 益	881	883	△	2
	長期前受金戻入等	172	206	△	34
	計 (A)	1,053	1,089	△	36
支 出	維持管理費 (うち人件費)	407 ( 25)	409 ( 25)	△ ( )	2 ( - )
	資 本 費	628	621		7
	消 費 税 等	47	49	△	2
	計 (B)	1,082	1,079		3
A - B		△ 29	10	△	39

(注) 資本費とは、減価償却費、支払利息等です。

②資本的収支

(単位：百万円)

区 分		令和5年度 予 定 額	令和4年度 予 定 額	差 増 △	引 減
収 入	出 資 金	2	2		—
	その他資本収入	96	11		85
	計 (A)	98	13		85
支 出	建設改良費	464	344		120
	他会計借入金 返 還 金	137	137		—
	計 (B)	601	481		120
A - B		△ 503	△ 468	△	35

(注) 資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額は、減価償却費等の現金支出を伴わない費用から生じる留保資金等で補てんします。

(6) 令和5年度下水道事業会計予算

①収益的収支

(単位：百万円)

区 分		令和5年度 予 定 額	令和4年度 予 定 額	差 引 増 △ 減
収 入	下水道使用料	33,163	33,319	△ 156
	一般会計負担金	36,091	34,885	1,206
	長期前受金戻入等	11,709	9,845	1,864
	計(A)	80,963	78,049	2,914
支 出	維持管理費 (うち人件費)	36,326 ( 6,147)	30,561 ( 6,117)	5,765 ( 30)
	資 本 費	43,817	44,325	△ 508
	消 費 税 等	2,720	2,676	44
	計(B)	82,863	77,562	5,301
A - B		△ 1,900	487	△ 2,387

(注) 資本費とは、減価償却費、企業債の支払利息等です。

②資本的収支

(単位：百万円)

区 分		令和5年度 予 定 額	令和4年度 予 定 額	差 引 増 △ 減
収 入	企 業 債	23,000	22,000	1,000
	国庫補助金	10,000	10,000	—
	その他資本収入等	2,975	1,882	1,093
	計(A)	35,975	33,882	2,093
支 出	建設改良費	46,156	44,428	1,728
	償 還 金 等	28,403	28,342	61
	計(B)	74,559	72,770	1,789
A - B		△ 38,584	△ 38,888	304

(注) 資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額は、減価償却費等の現金支出を伴わない費用から生じる留保資金等で補てんします。